

## 投機の何が悪いか：リーマンショック後の金融バッシングを踏まえて

菅野 雅明 (JP モルガン証券株式会社)

経済学では「安く買って高く売る投機は価格の変動を均す」「投資と投機を区別することは難しい」とされていますが、こうした考え方は世の中では少数で、「投機は悪だ」との見方が多数です。なぜなのでしょう。情報の非対象性、所得分配の問題があるようです。金融工学の発達と複雑化した金融取引、国際化の進展という環境変化の問題も重要です。

さらに、投機と資産バブルの関係についても考える必要があります。投機を直接規制すれば資産バブルは回避されるのでしょうか。一方、投機=悪との考えから政策が実行されつつあります。リーマンショック後はこの傾向が強まっています。ただし、対策は国によって異なります。果たしてこの政策で市場の変動は小さくなるのでしょうか。また投機を抑制するコストはどのように考えればよいのでしょうか。